

カーボンニュートラル研究センター

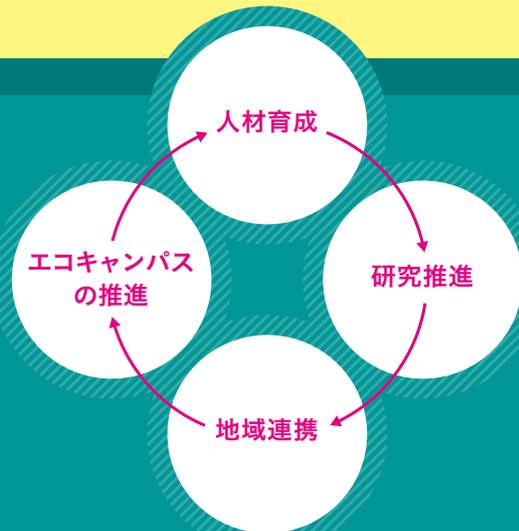
「カーボンニュートラル」の推進拠点

センター概要

関西大学カーボンニュートラル研究センターは、2022年10月1日に開設されました。

本センターは、カーボンニュートラルの実現をめざす取り組みが、本学のさらなる発展と持続可能な社会の実現に寄与する機会として捉え、今後の重要な成長戦略のひとつと位置づけ開設されました。

教育・研究機関の特性を活かした人材輩出と新技術の創出によって、多角的に地球環境の保全に貢献する機関として社会から認知される存在となることをめざします。



センター長メッセージ



センター長
北原 聡

わが国を含む120以上の国と地域で、2050年カーボンニュートラル実現に向けた取り組みが進められています。特に、研究においては様々な分野で新たなアプローチが行われ始めており、本学に対しても様々な機関から、文理を問わず共同研究の要望が寄せられています。

学外機関から要望を学内に展開したところ、極めて多様な研究テーマが多数提案され、多くの教員がカーボンニュートラルに関心を持ち、直接または間接的に研究を行っていることが判明いたしました。

一方、本学のカーボンニュートラルに関する研究を十分に学外へ発信できていないことや学内での情報共有が不足していることなども明らかとなりました。

このような背景を踏まえ、カーボンニュートラルに関する共同研究の受入などを推進し、併せて研究の学外への発信や学内での情報共有を行い、カーボンニュートラルに関する新規プロジェクトを創出する場として、カーボンニュートラル研究センターが設置されました。

本センターでは、今後もカーボンニュートラルに関する相談は増えることが予想されるため、全学的な窓口としての役割を果たしてまいります。

達成目標

教育・研究機関の特性を活かした人材育成と新技術の創出によって、多角的に地球環境の保全に貢献する機関として社会から認知される存在となる。

■ 社会全体のカーボンニュートラル達成に貢献できる人材育成と研究活動を促進する。

学生、生徒、教員、職員といった構成員全員が環境に配慮した行動をとれる。
学内の環境保全に関する知見を融合させ、環境問題解決に向けたアドバイスや技術提供ができる。

■ 社会、地域との連携を図り、カーボンニュートラルに向けた社会活動を支援する。

構成員全員が、環境保全に関する知識のインプットにとどまらず、それぞれの立場（学生・生徒・教員・職員）から実社会でどのような行動を起こせるかについて考え、実行していくことができる。
(ボランティア、啓発活動、インターンシップ、産学官連携、大学間連携など)

■ CO₂排出量を2030年度には50%削減*1、2050年度にはカーボンニュートラルをめざす。

学内設備を環境配慮型に更新し、事業活動による排出を最低限に抑制する。
学生及び教職員の行動変容を促し、カーボンニュートラル達成に向けた機運を醸成する。

*1 Scope1、2の排出量を対象とし、社会環境変化、技術革新を勘案し、この数値は適宜見直すこととする。